

【中学生議会 市長答弁様式1】協働によるまちづくり①

質問区分	中学生議会	議員名	もりかわ 森川 はるひと 晴仁議員
発言順(通し番号)	NO:13	所管課・室名	人権男女共同参画課

質問事項	男女共同参画について
具体的な提言	社会で活躍している女性の声を講演会などで広げていく

【市長答弁】

もりかわ
森川議員のご質問にお答えします。

森川議員の男女共同参画に対するお考えや姿勢に、たいへん感銘を受けております。

将来、議員のような若者がどんどん増え、輝いて働き、家庭を持ち、子育てをするとき、真の男女共同参画社会が実現できると頼もしく思います。

少子高齢化が進み、人口減少社会を迎えたなか、男性も女性もすべての人が、尊厳を持って生きることができ、自らの意思によって、個性と能力を十分に発揮して活躍できる社会をつくっていくことは、人権尊重の観点からも、社会の多様性と活力を高めるという観点からも、極めて重要であると考えます。

平成27年には「女性活躍推進法」が制定されました。

この法律により、女性の活躍が進むことで、女性だけではなく、男女がともに仕事と生活を両立できる暮らしやすい社会の実現につながるものと期待しています。

また、長時間労働をやめ、ワーク・ライフ・バランスを推進し、性別や年齢に関わらず、多様な働き方や生き方を選択できる社会を作っていく必要があると考えます。

安曇野市では、平成 20 年度から、男女共同参画計画を策定して、全市的な取り組みを進めてきました。

そして現在、来年度からの 5 年間の計画として、「第 3 次安曇野市男女共同参画計画」を策定するため審議を重ね、市民の皆さんの意見を聞いているところです。

森川議員の貴重なご提言を、今後の計画や施策に反映させていきたいと考えます。

【中学生議会 市長答弁様式1】協働によるまちづくり②-1

質問区分	中学生議会	議員名	<small>うちだはるか</small> 内田明花 議員
発言順(通し番号)	NO:14	所管課・室名	地域づくり課

質問事項	地域づくりについて
具体的な提言	多くの人に知ってもらうためのパンフレットの作成、地域の活動に子供も気軽に参加できるように交通機関の確保

【市長答弁】

うちだ
内田議員のご質問にお答えします。

内田議員が学習会で学ばれたことと思いますが、市では、様々な課題を解決するため「協働のまちづくり」を推進しています。

協働を進めていくうえで特に「情報」は重要です。市民の皆さんが、様々な情報を得ることにより、いろんな地域活動や催し物に参加することができます。

このことから、市では情報の充実を図っていきます。

・・・続きは、政策部作成（次ページへ）

【中学生議会 市長答弁様式1】協働によるまちづくり②-2

質問区分	中学生議会	議員名	<small>うちだはるか</small> 内田明花 議員
発言順(通し番号)	NO:14	所管課・室名	秘書広報課

質問事項	地域活動の充実とつながりについて
具体的な内容 (質問取り事項)	地域活動の認知度を高めるため、活動を紹介するパンフレットを作成し学校や、回覧版等で各家庭に配布する

【市長答弁】

・・・市民生活部に続けて

(内田議員の質問にお答えします。)

現在、市では、主な情報発信手段として「広報あづみの」を全世帯に配布しているほか、平成27年3月には市ホームページをリニューアルし見やすくし、また、平成26年3月にツイッター、平成27年9月にはスマートフォン向け広報閲覧アプリ「マチイロ」を導入し充実を図っています。

内田議員ご提案のとおり、地域活動を広く紹介することは、行政からのお知らせと共に安曇野市を理解いただく上で大変重要なことだと考えます。情報提供については、できる限り内田議員のご提案を取り入れていきたいと思えます。

・・・以下、移動手段・公共交通（次ページへ）

【中学生議会 市長答弁様式1】協働によるまちづくり②-3

質問区分	中学生議会	議員名	うちだほるか 内田明花 議員
発言順(通し番号)	NO : 14	所管課・室名	政策経営課

質問事項	移動手段・公共交通
具体的な内容 (質問取り事項)	自家用車でなくても、お年寄りから子供まで、それぞれの地域に行くことができるバスなどの交通機関をさらに整備してもらいたい

【市長答弁】

・・・政策部（秘書広報課）に続けて

（内田議員の質問にお答えします。）

現代社会はモータリゼーションの進展等によって、電車やバスといった公共交通を利用する方が著しく減少してしまいました。安曇野市も例外に漏れず、世帯当たりの自家用車保有台数は県内19市の中で高い位置を占めております。

一方、高齢化等の進展により、車を運転できない高齢者や障がい者の方々の移動手段の確保も重要性が増してきたことから、安曇野市では、市内全域をカバーする移動手段として、平成19年9月からデマンド型乗合タクシー「あづみん」の運行を開始し、高齢者や障がい者の方、特に女性の方を中心に毎年およそ9万人の方からご利用いただいております。

「あづみん」は利用登録された方でしたら誰でも利用が出来る公共交通として、月曜日から金曜日までの朝8時から夕方5時まで運行しており、指定された降車場所を概ね1時間以内で順次回りながら、乗られた方をそれぞれの場所で降ろすシステムとなっております。

運行開始から 10 年を迎え、市の公共交通として「あづみん」も定着してまいりましたが、まだまだ課題等も散見されるため、利便性の向上と将来に亘って安定した運行を継続するため、見直等を進めていきたいと考えております。

【中学生議会 市長答弁様式1】協働によるまちづくり③

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	きりくほおうが 切久保匡河議員
発言順(通し番号)	NO15	所 管 課 ・ 室 名	商工観光部 政策部

質 問 事 項	安曇野市の認知度の向上と観光客数について
具 体 的 な 提 言	市のホームページに、安曇野市の魅力的な場所を紹介するマップを作る

【市長答弁】

きりくほ
切久保議員のご質問にお答えします。

安曇野市の認知度向上についてのご質問です。

安曇野市のすばらしさは、春の残雪の常念とその前に広がる田植えが終わった水田の水面に映る常念、そこで農作業をする人らの場面が表すように、豊かな自然とそこに住む人の営みがおりにあす情景だと思っております。

都会の喧騒をはなれ、これらの情景に癒しを求め、特に多くの中高年の方々が大勢安曇野を訪れていただいております。

切久保議員ご提案の、市のHPを活用しての情報発信ではありますが、特に若い年代層のお客様は、インターネットやSNSであらかじめ観光の情報を閲覧して、旅行に出かけられる様ですので、このご提案は、大変重要な提案であると考えております。

皆様から安曇野の魅力ある場所の風景等を投稿していただくwebサイトにつきましては「ビューポイント安曇野」及び「ビューポイント信州の山」が市民団体の「安

曇野百選プロジェクト」により開設されており、市民も観光客も写真に合わせて、紹介文や地図情報を付けて投稿するシステムになっており、意見や感想を閲覧することができます。

また、安曇野市観光協会のHPでは、四季折々の催しや、宿泊施設の紹介、そして、美術館めぐりなど、安曇野での過ごし方や、モデルコースなど安曇野の魅力を発信しているとともに、フェイスブックなども活用した多様な情報発信に努めているところです。

また、電車やマイカーでのアクセスマップや空港シャトル便のダイヤなども掲載し、ストレスなく安曇野を訪れていただくよう、旬の情報発信に心掛けているところであり、地図情報等についてはQRコードを活用した情報提供にも取り組んでまいります。

協働によるまちづくりグループの、詳しい内容については、担当部長よりお答えします。

【中学生議会 部長答弁様式1】協働によるまちづくり①

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	もりかわ 森川 はるひと 晴仁議員
発言順(通し番号)	NO:13	所 管 課 ・ 室 名	人権男女共同参画課

質 問 事 項	男女共同参画について
具 体 的 な 提 言	社会で活躍している女性の声を講演会などで広げていく

【部長答弁】

もりかわ

森川議員のご質問にお答えします。

先程市長のお答えにありましたように、現在安曇野市では、「第3次男女共同参画計画」の策定のため、審議を重ねているところでございます。

この計画に向けて、市民の意識を把握する資料として、本年2月に「男女共同参画に関する市民アンケート」を実施いたしましたところ、議員のおっしゃる通り、人々の意識の中に形成された、性別に基づく固定的な役割分担意識、性差に関する固定観念や偏見をはじめとした不平等感が根強く残っていることが明らかになっています。

男女共同参画社会の形成のためには、市民の関心と意識を高め、幅広い年齢層に沿った、身近で分かりやすく、実践につながる啓発活動を積極的に推進していくことが必要です。

そして、アンケートでは、特に学校や職場における学習、研修に大きな期待が寄せられているところです。

議員もご承知のように、学校におきましては、カリキュラムや学校生活の中で男女共同参画が進んできたところですが、まだまだこれから改善していく余地も残されています。

そこで、質問書にもありましたように、教室の座席の配列など、まず声を上げていくことも大切かと考えます。

そして、そのような声を逃さず適切な対応をしていくことが、社会全体の責務であると考えます。

さて、市ではこの11月23日に男女共同参画フォーラム、24日には高校生との合同講座も予定しております。

特に23日は、国際女性の地位協会会長で、男女共同参画社会づくり内閣総理大臣表彰も受けられた、文京学院大学名誉教授の山下泰子先生をお招きした講演会も予定しております。

今日お集りの議員の皆さんも、ぜひ足を運んで頂ければと思います。

安曇野市が目指す男女共同参画社会は、「誰もが互いの人権を尊重し、責任を分かち合い、自らの意志によってあらゆる分野において男女が対等に参画の機会が確保され、個性と能力を十分に発揮することができる社会」です。

計画に沿って、1つずつ施策を進めて参りますので、今後も折に触れ、お力添えを頂ければありがたいです。

【中学生議会 部長答弁様式1】協働によるまちづくり②-1

質問区分	中学生議会	議員名	内田 ^{うちだ} 明花 ^{はるか} 議員
発言順(通し番号)	NO:14	所管課・室名	地域づくり課

質問事項	地域づくりについて
具体的な提言	多くの人に知ってもらうためのパンフレットの作成、地域の活動に子供も気軽に参加できるように交通機関の確保

【部長答弁】

内田^{うちだ}議員のご質問にお答えします。

内田議員のご質問のとおり、地域活動には様々なジャンルがあり、また様々な団体の皆さんが取り組んでいます。

例えば、内田議員が参加している一斉清掃は、住んでいらっしゃる区を中心とした自治会の活動で、自治会ではその他にも、防災や支え合いや助け合いの活動、また世代間交流事業として夏祭りや公民館活動などそれぞれの区で取り組んでいます。

また、それぞれ目的を持った NPO やボランティアグループの皆さんが活動を行っております。

市では、市民活動サポートセンターにおいて、こうした様々な活動を取りまとめ、センターのホームページへの掲載や広報誌の発行、さらには協働事業事例集を作成し、皆さんにお伝えしています。

まだまだ、内田議員をはじめ、目に触れていない方も多ことから、さらに充実していきたいと思っております。

貴重なご提言ありがとうございました。

・・・続きは政策部

【中学生議会 部長答弁様式2】協働によるまちづくり②-2

質問区分	中学生議会	議員名	<small>うちだはるか</small> 議員 内田明花
発言順(通し番号)	NO : 14	所管課・室名	秘書広報課

質問事項	地域活動の充実とつながりについて
具体的な内容	地域活動の認知度を高めるため、活動を紹介するパンフレットを作成し学校や、回覧版等で各家庭に配布する

(市民生活部長答弁) から続き

【政策部長答弁】

うちだ内田議員のご質問にお答えします。

内田議員のご提言にもあるとおり、様々な地域活動の一つにまとめ、紹介することは、より多くの市民の皆さんの活動への認知度を高めるために有効だと考えます。

市といたしましては、市民の皆さんが様々な地域活動の情報を入手しやすくなるよう、「市民活動サポートセンター」ホームページへのリンクを市ホームページのトップページに設置することや、地域活動を紹介するページを新たに作成し、必要な情報を印刷できるようにしたいと考えております。

また、広報「あづみの」で市民活動サポートセンターや、特色ある地域活動などを特集で紹介し、市民の皆さんの目に触れる機会づくりにも取り組んでいきたいと思っております。

内田議員のご提言を参考に、市民の地域活動が活発になるよう、情報を入手できる環境づくりに取り組んでいきたいと思っております。

貴重な提言を有難うございました。

(以下、移動手段・公共交通)

【中学生議会 部長答弁様式2】協働によるまちづくり②-3

質問区分	中学生議会	議員名	内田明花 議員
発言順(通し番号)	NO: 14	所管課・室名	政策経営課

質問事項	移動手段・公共交通
具体的な内容	自家用車でなくても、お年寄りから子供まで、それぞれの地域に行くことができるバスなどの交通機関をさらに整備してもらいたい

【政策部長答弁】

(移動手段・公共交通について) 内田議員のご質問にお答えします。

現在、安曇野市では合併後の平成19年9月から、デマンド型乗合タクシー「あづみん」を運行し、年間9万人の市民の方に利用いただいておりますが、合併前の旧町村時代や合併当初の安曇野市では、ごく一部の区間で民間の路線バスが運行されている以外、旧町村ごとに独自の移動手段を構築しておりました。

例えば、旧豊科及び明科町では、停留所を循環する路線方式のコミュニティバスを、旧穂高町では福祉バスと観光周遊バスを、旧三郷村は福祉バスを、そして、旧堀金村は現在のデマンド型乗合タクシー「あづみん」の前身にあたる「うららカー」を運行しておりました。

しかし、旧町村内の運行で地域を跨いだ乗り継ぎが出来ないため、市民の皆さまの利用は低迷しておりました。

そこで、市全体の公共交通のあり方について、市民の皆さまと一緒に検討を重ねた結果、市域が広く、複数の中心地や山間部まで集落が点在している本市の地理的環境等を考慮し、停留所を循環する路線バスではなく、旧堀金村で運行していたデマンド型乗合タクシー「うららカー」を市全域で運行させることに決定いたしました。

現在、「あづみん」も運行開始から10年を迎えたことから、利便性の向上と将来に亘って安定して運行を持続するため、運行体系等の見直しを進めております。

【中学生議会 部長答弁様式1】協働によるまちづくり③-1

質 問 区 分	中学生議会	議 員 名	きりくほおうが 切久保匡河議員
発言順(通し番号)	NO15	所管課・室名	商工観光部

質 問 事 項	安曇野市の認知度の向上と観光客数について
具 体 的 な 提 言	市のホームページに、安曇野市の魅力的な場所を紹介するマップを作る

【商工観光部長】

きりくほ
切久保議員のご質問に答えします。

議員からご提案いただきました、市のHPへの観光に対するご意見等を寄せていただく投稿サイトの新設であります。行政ではなく市民団体や個人においても様々な形で開設され、加えて観光事業者においても個々に開設されています。

一部のサイトでは、安曇野の魅力のある場所や風景を市民の方や観光客からコメントや映像を投稿していただき、情報共有と情報発信ができるようになっておりますが、これに対する意見等の書き込みはまだまだ件数が少ない状況でありますので、課題として認識しています。

また、市では本年度からSNS「Instagram」を活用し、写真や動画を通じて「安曇野ファン」を更に増やす取り組みを行うなど、観光協会とともに、フェイスブック、ツイッターなど多様な情報発信を含め、閲覧いただく工夫も検討しながら、積極的な情報発信に取り組んでまいります。

また、現在、観光案内版の統一化に向けた取り組みを行っていますが、ポスターやこれらの案内版へのQRコードについて検討してまいります。

なお、現在数種類の「安曇野市の風景のポストカード」を観光協会の観光情報センターにて販売しておりますが、その更なる活用が図れるよう取り組みます。

【中学生議会 市長答弁様式1】協働によるまちづくり③-2

質問区分	中学生議会	議員名	きりくぼおうが 切久保匡河議員
発言順(通し番号)	NO: 15	所管課・室名	秘書広報課

質問事項	安曇野市の認知度向上と観光客数について
具体的な内容 (質問取り事項)	市のホームページに安曇野市の魅力的な場所を紹介するマップを作る

【政策部長答弁】

きりくぼ
切久保議員の質問にお答えします。

現在、市では、市ホームページ、ツイッターなど、インターネットを活用した広報の充実に努めています。特に市ホームページは、市の顔として、地域の魅力発信に重要な役割を担うと考えております。

議員から提案いただいた投稿型の観光マップについては、類似するサイトを市民との協働で開設しておりますが、トップページから辿り着きにくいといった課題もあります。

トップページに観光協会や同サイトのバナーを作るなど、観光情報の検索性を高める取り組みを検討いたします。